

# 2017年度事業計画と組織

## 1. 事業の推進計画

2017年度の協会は、2015年11月に発表した「行動宣言」を中軸に置き、重点テーマである「災害支援・防災」事業および「社会的孤立の抑制・解消」事業を一層軌道にのせる。従前から取り組んでいる「ボランティア・NPO推進センター」においては、「コーディネーション事業」、「市民力向上事業」、「NPO運営基盤事業」を実施し、また「災害支援・防災事業」、「企業市民活動推進センター」、「情報研究・出版・市民シンクタンク事業」を展開し、「市民活動の総合サポートセンター」としての特色を生かし、極める。

### 【ボランティア・NPO推進センター部門】

ボランティア・NPO推進センターは、①「ボランティアコーディネーション」、②「市民力向上(市民学習・研修)」、③「NPO運営支援・基盤整備」「市民活動の場の支援(CANVAS谷町)」の3事業において、相乗効果を出せるよう相互連携して取り組む。

#### 1. ボランティアコーディネーション事業 (大阪市受託事業を含む)

ボランティアコーディネーション事業では、「ボランティア活動、市民活動に組み込みたい」という人の思いに応えるとともに、個人、施設・NPOなどからの「ボランティアの応援を求めたい」という依頼に応え、ボランティアを募集・紹介することを通じて、広義の意味での地域福祉を担う人材を育成し、市民の自治力の向上をめざす。

##### 1) 相談を通じた問題解決：個人・団体の受け入れ力を向上

- ① (市受託) 個人、施設・NPOへの訪問、面談、各種関係機関と連携や施設団体へのボランティアマネジメントのアドバイス、相談など
- ② (市受託) 「ケース検討会」の定期開催とケースからのテーマ別研究
- ③ (市受託) 「インクルーシブボランティア研究会」(旧・課題を抱える当事者の活動支援事業の開発)の開催 **【重点】**

##### 2) 活動希望者への対応：新たな活動層を広げる

- ① (市受託) 「はじめてのボランティア説明会」(一般・テーマ別)、「出張ボランティア相談会」の開催
- ② (市受託) 災害ボランティアリーダー育成、災害時の出番の可視化の取組み **【重点】**
- ③ (大阪府共募助成) 「ボランティアスタイル」事業の推進
- ④ (実行委員会参画) 「天神祭ごみゼロ大作戦」のエコステーションボランティア協力 **【新規】**
- ⑤ 「関西人のためのボランティア活動情報ネット(KVネット)」によるボランティア情報の発信
- ⑥ メルマガ「関西人のためのボランティア情報」の編集・発行、およびマスコミへの活動情報提供(読売新聞わいず倶楽部、毎日新聞)

##### 3) 企業人や学生へのボランティア活動の機会を開発・提供

- ① (市受託) 企業人のボランティアプログラム開発と推進

- ② (市受託) 企業人や大学生活動者の受け入れ団体研修の開発
- ③ (市受託) SNSを活用したキュレーションサイト構築 **【強化】**

#### 4) ボランティアコーディネーションに関わる人材養成・専門性向上・基盤強化の提供

- ① (JVCA 共催)「ボランティアコーディネーター講座(新任向け)」の企画・実施
- ② (JVCA 共催・受託)「ボランティアコーディネーション力3級検定」直前研修と検定の実施

#### 5) ボランティア推進関連のネットワークキング

- ① 全国規模のネットワークキング(「ボランタリズム推進団体会議(通称:民ボラ)」「広がれ!ボランティアの輪・連絡会議」)への参画
- ② 関西規模のネットワークキング(「関西地区大学ボランティアセンター連絡協議会」)への参画

## **2. 市民力向上(市民学習・研修)事業**

「市民」として生き方を深めるための学習支援事業は、①各種の市民向け講座が多彩に開催される市民学習・研修、②NPOや市民活動推進の専門職対象の研修、③全国各地からの派遣要請に応じて“出前講座”を進める「講師派遣事業」の3形態に大別される。相互に相乗効果を出せるよう連携して取り組む。

### 1) 市民向けの市民学習およびNPOや市民活動推進の専門職対象の研修

- ① 定期総会記念講演会の開催
- ② 裁判員ACT連続セミナー「裁判員裁判から見えてくる社会的孤立とその課題」の開催 **【重点】**
- ③ ボランタリズム研究所「『日本ボランティア・NPO・市民活動年表』を読む会」の開催と改訂準備
- ④ ボランタリズム研究所「『市民セクターの次の10年を考える』研究会第2幕～社会的孤立の抑制と解消への道程」の開催 **【重点】**
- ⑤ ボランタリズム研究所「リサーチ&アクションセミナー」の開催 **【重点】**
- ⑥ 「はじめてのNPO説明会」の個別開催
- ⑦ 「CANVASよるがく」「CANVASカフェ」の開催 **【新規】**
- ⑧ (日本NPOセンター助成)「SAVE JAPANプロジェクト」の開催
- ⑨ (NPO広報力向上委員会・電通協力)「伝えるコツセミナー」の開催
- ⑩ 時宜に応じた講座・学習会などの開催

### 2) 講師派遣事業

- ① 全国各地で開催される市民活動講座や行政職員研修などへの講師派遣と講座企画の受託(ボランティアコーディネーション、市民活動論、NPOマネジメント、行政との協働、CSR・社会貢献、裁判員裁判、日本語でつたえるコツ等)
- ② 大学等の「ボランティア論」「市民活動論」などへの非常勤講師の派遣

### 3) 視察研修、研修生・インターン等の受け入れ

- ① 大学や企業のインターンシップ生の受け入れ(大阪大学、甲南女子大学、エンカレッジ)
- ② (大経大受託)大阪経済大学人間科学部「ボランティア実習」の講義と活動先コーディネート
- ③ 視察研修の受け入れ

## **3-①. NPO運営支援・基盤整備事業**

様々な市民活動団体の運営相談や支援を進めてきたが、NPO数が増加し、基盤の充実が図られるな

かで、2017年度は、現場と近接する機会を積極的に作り、当協会らしい団体支援の取り組みを進める。

### 1) NPO・市民事業マネジメント支援事業

- ① NPOの運営などの相談対応&コンサルティング
- ② メルマガ「NPOぼいす」の編集・発行
- ③ 他団体への後援名義・運営協力

### 2) 支援者とNPOの連携支援事業

- ① 「パートナー登録」(略称「P登録」)制度の運営
  - ・支援者とのコーディネーション(人、モノ、資金、情報)、継続的な運営相談、協会主催研修会・講習会の優先受付・割引、定期的な情報提供、「市民活動スクエアCANVAS谷町」の優待
  - ・団体訪問による課題のヒアリングを通じて、勉強会や新たな事業開発につなげる
- ② 支援者の開拓と信頼のおけるNPOとのコーディネーション
  - 寄贈品・寄付金のコーディネーション、助成金および賞の推薦協力
- ③ 支援者とNPOの連携推進のための事業の実施
  - ・「社会課題を解決するための市民参加型伴走支援プロジェクト」(WAM助成)の企画実施【新規】

### 3) NPO推進関連のネットワーキング

- ① 全国規模のネットワーキング(日本NPOセンター、シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、「NPO法人会計基準協議会」、「NPOの法制度等改革推進会議」)への参画
- ② 関西規模のネットワーキング(「関西NPO支援センターネットワーク(KNN)」「近畿圏NPO支援センター連絡会議」)への参画

## **3-②. 市民活動の場の支援「CANVAS谷町」事業**

「CANVAS谷町」では、市民活動の芽吹きを育み、団体や関心層がつながる場になっていくよう、現在も、拠点としての機能拡充や支援のあり方などを、団体の声やニーズを受け止めながら推進する。

### 1) 「CANVAS谷町」の情報発信交流エリアの運営(自治的運営と一層の利用促進)

- ① 情報交流エリア:コーディネーション事業と連携したちらしの配架やポスターの掲示による広報協力、CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」と連携した施設内の環境改善作業など

### 2) 「CANVAS谷町」貸出し等、場の提供支援の取り組み

- ① コラボエリアの運営:市民活動団体へのフレックスデスク、コーディネーションデスクなどの貸出し利用提供、ロッカー・レターケース等の有償貸与、印刷機利用提供、利用団体への運営助言など
- ② 会議室エリアの運営:会議室の貸出し提供
- ③ 全体的の利用率アップの促進【強化】

## **【その他の部門および事業】**

## **4. 災害・復興支援、防災事業**

既存のネットワークとの連携的な取り組みを生かしつつ、大阪・関西エリアが被災した際に、スペシャルニーズ(特別な配慮の求め)に応えられる仕組みを生み出す。また、協会BCP(事業継続計画)について、方針を作成するとともに備えを実行に移す。

### 1) 災害時、あるいは備えとして平時から取り組む事業

- ① 実災害時の運営支援者、運営者を、職員とボランティアをチームにして派遣(災害発生時)
- ②(大阪府福祉基金助成)「災害時のスペシャルニーズ支援事業(災害時におけるとっておきの配慮の求め(=スペシャルニーズ)に応えるためのモデル構築事業 **【重点】**)
- ③(大阪府共募助成)災害時に動ける人づくり(災害・防災をテーマとした講師派遣、SUG(すぐに動きますグループ)を中心とした災害ボランティアリーダー養成など)
- ④ 広域避難者の支援活動

## 2) 協会の事業継続のための計画(BCP)策定

- ① 協会BCPの方針策定 **【強化】**
- ② 災害支援センター(仮称)のガイドマニュアル策定 **【新規】**

## 3) 災害時・防災のネットワーク

- ① 全国規模のネットワーク(「震災がつなぐ全国ネットワーク(震つな)」への参画)
- ② 関西規模のネットワーク(「3.11 from KANSAI 実行委員会」への参画と震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI 2018」の実施)
- ③ 大阪におけるネットワーク(「おおさか災害支援ネットワーク(OSN)」「まちなか被災シミュレーション実行委員会」)への参画と定例会の企画実施)
- ④ 企業や労働組合等との協働による災害支援プラットフォームづくりの研究・開発(検討着手)

# 5. 企業市民活動推進センター事業

企業市民活動推進センター(CCC)では、企業市民活動の更なる発展を目指し、企業の社会貢献活動およびCSR担当者への啓発活動のための情報発信を行う。

## 1) コンサルテーションとコーディネーション

- ① 企業市民活動(「CSR」「CSV」「企業の社会貢献」)全般の相談対応や企画へのコンサルティング
- ② 市民活動団体への助成プログラムの事務局受託(積水ハウス㈱「マッチングプログラム」、阪急阪神ホールディングス㈱ グループ「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 助成プログラム」)
- ③ 企業と市民活動団体の協働事業の広報協力及び企画協力受託(阪急阪神ホールディングス㈱「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金 ええまちづくり隊2018」広報協力、「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」企画協力)
- ④ NPOの組織基盤強化の企画受託(武田薬品工業㈱「NPOサポートプログラム」)
- ⑤ 労働組合のボランティア講座の企画受託(キリングroup労働組合協議会、小野薬品労働組合)

## 2) 教育・研修・研究

- ① 社員向けボランティア講座の受託開催、および企業関連の講師派遣
- ② 「フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム(PCLF)」の企画開催(偶数月第2火曜)と幹事会の運営、自主ゼミ「リンクアップ・ジュニア」のサポート
- ③ 「はじめてのCSR・社会貢献講座」の開催 **【新規】**
- ④ 「うめきた朝ガク運営委員会」への参画と企画・実施
- ⑤ 企業市民活動に関する調査研究の実施(「CRM(コースズリレーティッドマーケティング)研究会」)
- ⑥ 元・社会貢献担当者に市民活動に関わり続けられる機会づくりや研修の企画・実施

## 3) CSRへの提言関係のネットワーク

- ① 「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク」への参画

## **6. 情報提供・出版・市民シンクタンク事業**

市民活動総合情報誌『ウォロ』を通じて協会のオピニオン発信を行うとともに、「ボランティアリズム研究所」では、「市民セクターの次の10年を考える研究会第2幕」を研究誌にまとめ、知の共有や発信の強化をめざす。

### **1.) 情報誌の発行と情報提供**

- ① (大阪府共募助成) 市民活動総合情報誌『ウォロ』の企画・編集・発行(年6回)、及び購読者拡大
- ② 巡静一基金「ボランティア・市民活動ライブラリー」の蔵書の整備、新聞切抜のPDFデータ化【強化】
- ③ 協会公式ホームページ「ぼらやねん」の運用
- ④ 協会公式facebookの運用

### **2.) 書籍の編集と発刊**

- ① 『テキスト市民活動論』第2版の編集と発刊
- ② ボランティアリズム研究所による『ボランティアリズム研究誌3号』の編集と発刊【新規】
- ③ 『学生のためのボランティア論』『カウンセリング入門』『共感のマネジメント』の改訂検討
- ④ 中央法規出版刊『福祉小六法 2017』の編集協力

### **3.) 市民シンクタンク事業**

- ① (真如苑受託) 真如苑「アドバイザー委員会」事務局および「多摩地域市民活動公募助成事業」、「自立援助ホーム支援助成事業」の助成金事務局
- ② 審議会、研究会、助成審査会、学会役員などへの参画

## **7. 国内外のネットワーク推進事業**

### **1.) 国内でのネットワーク活動** (他章紹介分を除く)

- ① 分野別のネットワーク(「障害者週間協賛事業大阪実行委員会」「地域こども支援団体連絡会」「大阪府青少年育成大阪府民会議」「安全なまちづくり推進会議」「大阪ふれあいキャンペーン実行委員会」)への参画
- ② 役員などの派遣(理事長、常務理事、事務局長などが他団体の役員に就任)

### **2.) 海外とのネットワーク推進**

- ① 海外の市民活動推進機関とのネットワーク(視察受入れを通しての情報交換など)

## **2. 事業を支える組織と財政の強化**

### **1. 人的な事業推進態勢の充実**

協会の事業推進は、専従職員 13 人とともに 106 人のボランティアが事業推進と組織経営に参画する「自発性を核とする事業推進態勢」―「参加システム」をとっており、これらの基盤をもとに様々な事業活動を進めるものである。

#### **1.) 会員・寄附者の支援継続と新たな支援者との出会い創出**

- ① 個人会員、個人賛助会員、団体賛助会員の支援継続と新たな支援者への働きかけを企画・実施
- ② 会員誌『CANVAS NEWS』の定期発行(年6回)、「会員メーリングリスト」など会員サービスの充実

## 2) 社会福祉法人としての組織活動

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会、監事会の開催

## 3) 市民参加による組織経営と事業推進体制

- ① 会員総会(「定期総会」)の開催
- ② アソシエーター会議(「一泊創出会議」「一泊事業計画会議」)の開催
- ③ 「常任理事会(財務基金運営委員会の機能を兼ねる)」「常任運営委員会」を毎月開催
- ④ 「ボランティア・NPO推進センター運営委員会」「企業市民活動推進センター運営委員会」「ボランティアリズム研究所運営委員会」「災害支援委員会」「ウォロ編集委員会」の開催
- ⑤ 「法人コミュニケーションチーム」およびその他の推進チーム・専門委員会の運営
- ⑥ アソシエーター研修(アソシエーター基礎研修、アソシエータープッチ研修)の企画・実施 **【強化】**
- ⑦ 常任運営委員による「はたらき方改革」を検討するタスクチームの設置 **【新規】**

## 4) 事務局体制の整備

- ① 「事務局会議」「事務局マネジャー会議」による事務局運営の円滑化
- ② 新たに「事務局主幹」「事務局主任」を配置し、事務局体制を拡充 **【強化】**
- ③ 職員研修の企画実施 **【強化】**

# 2. 財源の確保と財政運営

『ポスト50年』行動宣言」を充実させるためにも支援系財源開発について、「常任運営委員会」を中心に検討を進め、「理事会」「常任理事会」と連携して、協会の経営を総合的に協議し、取り組みを進める。

## 1) 会費・寄附・助成金・補助金の維持・拡大

- ① 会費収入(個人会費・個人賛助会費・団体賛助会費)の維持・拡大 **【強化】**
- ② 寄附収入(一般寄附・指定寄附)の維持・拡大 **【強化】**
- ③ 事業推進のための助成金、補助金の申請などによる財源確保 **【強化】**
- ④ 常任運営委員による「ファンドレイジング」を検討するタスクチームの設置 **【強化】**

## 2) 自主事業収入・受託事業収入の維持・拡大

- ① 「市民活動スクエア『CANVAS谷町』」の効率的な運営と事業収入拡大 **【強化】**
- ② 「市民学習およびNPOや専門職向け研修」「講師派遣」の事業収入拡大 **【強化】**
- ③ 「企業市民活動のコンサルテーション」「シンクタンク事業の調査研究」の事業受託開拓 **【強化】**
- ④ 「ウォロ」購読料、書籍の発行経費の回収を努力

## 3) 支出の抑制・適正化、ならびに財務管理体制の整備

- ① 事務局による日常的な経費低減と収支管理体制の整備
- ② 経理ソフトの活用と顧問税理士との連携による社会福祉法人会計の適正運営と、常任理事会との連携による財務管理体制の確立

以上